

2020 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

民事法学・公法学専攻（英 語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

1. 以下の英文を、日本語で10行程度に要約しなさい。
2. 下線部の英文を和訳しなさい。

2020年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

政治学専攻（英語）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の文章を、日本語に訳しなさい。

出典： Adam Przeworski, *Crises of Democracy*. Cambridge University Press, 2019.

答案用紙別紙

2020 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

政治学専攻（ドイツ語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

次のドイツ語テキストを日本語に訳しなさい。

出典：Reinhard Mehring, Carl Schmitt: Denken im Widerstreit. Werk-Wirkung-Aktualität.
München, 2017, S. 104 f.

答案用紙別紙

2020年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

共通（日本語）

受験番号			
------	--	--	--

アリストテレスの幸福論に関する以下の文章を読み、設問に答えなさい。

問一 本文に示された幸福論の概要を二十行程度にまとめなさい。

問二 傍線①の「運の問題」について、十行程度で説明しなさい。

問三 傍線②について、福德一致に對立するアリストテレスの論拠を本文に即して十行程度で説明しなさい。

出典 古田徹也『不道德的倫理学講義—人生にとって運とは何か』ちくま新書、二〇一九年

* 出題にあたって表記・構成を一部改めた。

答案用紙別紙

2020年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

共通（史料読解）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

問題 以下の史料を読み、時代背景を十分に踏まえて、その内容を説明しなさい。

2020年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

共通（統計学）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

次の問い全てに答えよ

1. X が期待値 10.0, 標準偏差 1.5 の正規分布にしたがう確率変数であるとき, $8.5 < X \leq 13.0$ である確率を求めよ。ただし, 標準正規分布にしたがう確率変数 z について, $\Pr(z < 1.0) = 0.841$, $\Pr(z < 2.0) = 0.977$ であることを用いよ。
2. 1回の試行で成功する確率が p であるような試行を n 回行う場合 (ただし各試行は独立とする), 成功する回数の期待値と分散が np および $np(1-p)$ であることを示せ。
3. ある番組の視聴率調査を行った。サンプルは全国から無作為に選ばれた 900 世帯で, 視聴率は 8.9%であった。この番組の真の視聴率 (全数調査での視聴率) は 10.0%といえるかどうか検討しなさい。ただし, サンプル数は十分に大きいので, サンプル調査の視聴率は正規分布にしたがうものとする。また, 標準正規分布にしたがう確率変数の累積確率が 95%, 97.5%となる値は, それぞれ, 1.645 と 1.960 である。

(各 20 点 : 計 60 点)

4. 犯罪発生率と犯罪のコストの関係を探るため, 別紙のような回帰分析を行った。回帰分析に用いられたデータは, アメリカのある州における 90 の郡についての犯罪発生率等のデータを 7 年間にわたって追跡したパネルデータである。また, 回帰分析は, パネル分析の手法である固定効果モデルを用いて行われた。

(1) 固定効果モデルとは何か説明せよ。パネルデータの分析においてなぜそのような手法が用いられるのか, その理由も含めて説明せよ。

(2) 説明変数, 被説明変数が対数値であることに注意して, 回帰係数を解釈せよ。

(各 20 点 : 計 40 点)

別紙

表 犯罪発生率の回帰分析

被説明変数 : lcrmrte

	Estimate	Std. Error	t-value
lprbarr	-0.225501	0.037567	-6.0026
lprbconv	-0.133819	0.022093	-6.0571
lprbpris	-0.134857	0.039311	-3.4305
lavgsen	0.021567	0.030766	0.7010
lwmfg	-0.341942	0.101497	-3.3690
ldensity	0.985808	0.333826	2.9531
lpctymle	-0.045672	0.306372	-0.1491

Total Sum of Squares: 17.991

Residual Sum of Squares: 15.877

R-Squared: 0.11752

Adj. R-Squared: -0.041429

F-statistic: 10.1397 on 7 and 533 DF, p-value: 6.1145e-12

変数一覧

lcrmrte : 犯罪発生率の対数値 ; lprbarr : 逮捕確率の対数値

lprbconv : 有罪確率の対数値 ; lprbpris : 禁固刑の確率の対数値

lavgsen : 平均刑期 (日) の対数値 ; lwmfg : 製造業の賃金の対数値

ldensity : 人口密度の対数値 ; lpctymle : 若年男性の比率の対数値

データの出所: Hill,R.C, Griffiths, W.E. and G.C.Lim , *Principles of Econometrics*, third ed., John Wiley and Sons, 2008 付属のデータ